

4 吉無田郷

50 年前(1969.1.1):人口 1,747 人 世帯数 414

現在(2019.1.1) :人口 8,383 人 世帯数 3,387

まなび野

現在(2019.1.1):人口 2,575 人 世帯数 963



池山(住民提供) 昭和 38(1963) 年



池山(住民提供) 昭和 38 (1963) 年



池山 令和元 (2019) 年 5 月

1 枚目の写真の手前の川は的場川（長与川に合流する少し手前の位置）、左上の山は御用山。右奥の方にうっすら見える山に、現在はビューテラス長与北陽台の団地が立ち並ぶ。

2 枚目の写真の真ん中の白い部分が道路で、それに沿う形で長与川が流れている。その先に線路があり、汽車が走っている。その奥にある山は、現在の中尾城公園（平成 6(1994)年 9 月にオープン）。左端中央部にある建物は交番（吉無田駐在所）、その先にあるのが長与駅。中央奥の山は法妙寺のある唾飲城跡の山。



井手本 昭和 47 (1972) 年 7 月



井手本 令和元 (2019) 年 11 月

正面の山は現在の中尾城公園



吉無田 昭和 34 (1959) 年



吉無田(住民提供) 令和元年 (2019) 年 6 月

昭和 47(1972)年施行の長与東部土地区画整理事業が行われるまで、辺りは田んぼが広がっていた。



長与駅前橋 昭和 40 (1965) 年 5 月



長与駅前付近 令和元 (2019) 年 5 月

写真右上に見える水田地帯を、昭和 47 (1972) 年度からの長与東部土地区画整理事業において、近代的都市の姿に一変させた。



長与駅前橋 昭和 40 (1965) 年



長与駅前橋 昭和 29 (1954) 年 3 月



長与駅前橋 平成 30 (2018) 年

昭和 40(1965)年 5 月、長い間不便であった駅前橋がようやく完成。取り付けられた 4 個のボンボリ蛍光灯が地元民の喜びを象徴した。

なお、このころ長崎市への編入問題が議会及び村民の間で慎重に議論されていたが、結局、合併後の税負担の高額化の問題や、中央重視的行政の懸念、また、農政の問題等から市への合併は見送られることになり、やがてこの問題は解消した。



長与駅前橋より 昭和 47 (1972) 年 7 月



長与駅前橋より 令和元 (2019) 年 5 月

駅前橋より長与ニュータウン方面



長与駅 昭和 40 (1965) 年



長与駅 平成 30 (2018) 年

明治 30(1897)年 7 月 22 日 下り方面開業。明治 31(1898)年 11 月 27 日、松ノ頭トンネルの開通に伴って上り方面の営業も開始。

駅舎は平成 9(1997)年頃橋上化され、平成 11(1999)年、現在の駅前広場が完成した。



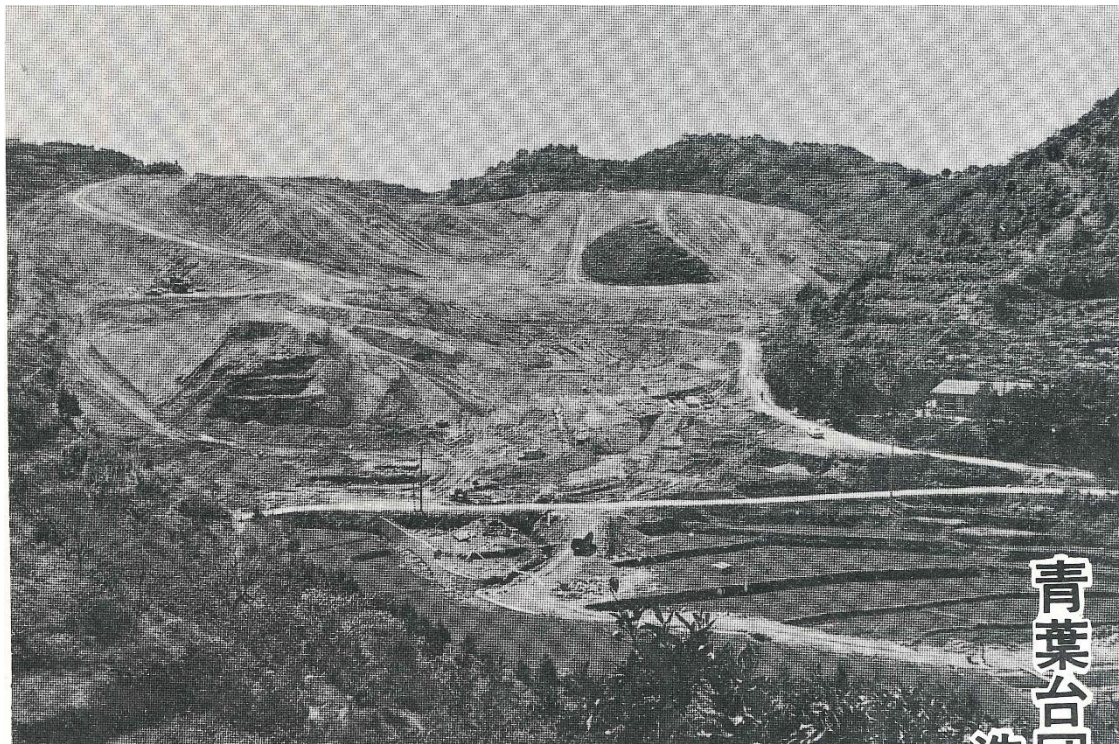
長与駅前にて汽車増発陳情のための署名活動 昭和 47 (1972) 年



長与駅ホーム 昭和 57 (1982) 年 10 月



長与駅舎改装落成式 昭和 63 (1988) 年 3 月 3 日



青葉台造成 昭和 47 (1972) 年 3 月



青葉台 昭和 50 (1975) 年代



青葉台 令和元 (2019) 年 5 月

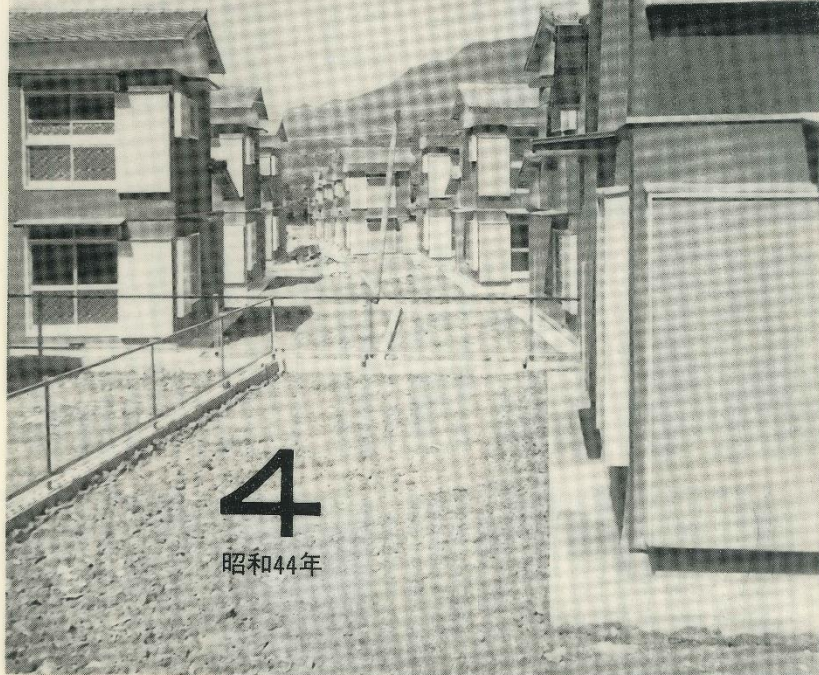
昭和 47(1972)年 1 月より青葉台団地の造成工事が始まり、総面積約 12 ヘクタールに 343 戸の宅地造成が約 1 年間の工期で行われた。この団地を通して昭和町に至る幅員 9 メートルの町道拡幅工事も同時に進められた。

崎ノ尾団地

完成まじか

長与駅裏（面積 1.3ヘクタール）に、日本勤労者住宅協会が、建設中の団地（約54戸、入居人口 約 240人）がほとんど完成しています。

この団地の完成によって、本町には3団地ができ、また各地に宅地造成が進められ、新しい町に変わろうとしています。



崎ノ尾団地 昭和 44 (1969) 年 3 月

崎ノ尾団地完成間近。長与町が新しい町として大きく変わり始めたのも昭和 44 (1969) 年の町制施行前後からのことで、これで、町内には百合野（第一）・西田原、両団地とあわせて3つの団地ができ、さらに町内画地に宅地造成の音が大きく響き始めていた。